



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)6月15日号 No.1696

## 目次

■ <b>ロシアの最新の地域総生産</b> ..... 1	
<b>ークリミアが統計に登場ー</b>	
■ <b>統計速報</b> ..... 11	
2016年1～5月のロシアのブランド別乗用車販売台数 / 11	
■ <b>モスクワほっとニュース</b> ..... 12	
ステーキハウス再び: ルィプィ・ニェットとシカゴ・プライム / 12	
■ <b>エトセラ</b> ..... 14	
カザフスタン水関連展示会出展者募集のご案内 / 14	
■ <b>トピックス</b> ..... 14	
防災製品の東京製綱がカザフスタンで工場設立 / 14	
東洋エンジ関連会社、トルクメニスタンでプラント受注 / 14	
経産省がクリーン・コール技術でモンゴルと協力 / 15	
日本・モンゴルEPAが発動 / 15	

## ロシアの最新の地域総生産 ークリミアが統計に登場ー

### はじめに

ロシア連邦国家統計局は先日、2014年の同国の地域総生産の統計を発表した。地域総生産は国内総生産(GDP)を地域別(州などのレベル)にブレイクダウンしたもののだが、GDPよりも発表が遅いので、このほどようやく2014年の数字が発表されたというわけである。そこで今回の速報では、この最新データを図表にまとめてご紹介する。なお、図表1では地域総生産のデータが現地通貨ルーブルで示されているが、2014年の年平均レートは、1ドル=38.0ルーブル、1ルーブル=2.78円であった。

さて、今回の地域総生産統計で、最大のトピックは、初めてクリミアが登場したことだろう。周知のとおり、ロシアは2014年3月にウクライナ領クリミアの併合を強行しているが、むろん国際的な承認は得られていない。ただ、クリミアがロシアの統計上、どのように位置付けられるかは興味深いところなので、本速報でもクリミアのデータを参考値として掲載することにする。図表1に見るように、地域の豊かさを表す住民1人当たり地域総生産の指標で、クリミアのセヴァストポリ市は最下位、クリミア共和国も下から2番目になっている。また、クリミア連邦管区の総生産が連邦全体に占めるシェアは、0.26%にすぎない。以前からロシアとウクライナの経済格差が指摘されていたが、ウクライナに属してきたクリミアの数字がロシアの地域総生産統計に今回初めて反映されたことによって、その現実が浮き彫りとなった。